

平成25年度予算の概要

固財政課・内線2676

一般会計と6つの特別会計の総額は、約1千389億6千万円で、前年度に比べ69億2千万円の増となっています。

一般会計の予算額は、695億7千800万円で、前年度に比べ24億6千500万円、3・7%の増となっています。歳入・歳出の内訳は右図の通りです。

歳入は、市税が前年度に比べ、1・2%増の約374億円。このうち、個人市民税は、給与収入の

実態等を踏まえ、0・6%の減、法人市民税は、復興需要や企業収益の回復傾向に加え、政府による景気対策の影響を見込み、12・7%の増となっています。

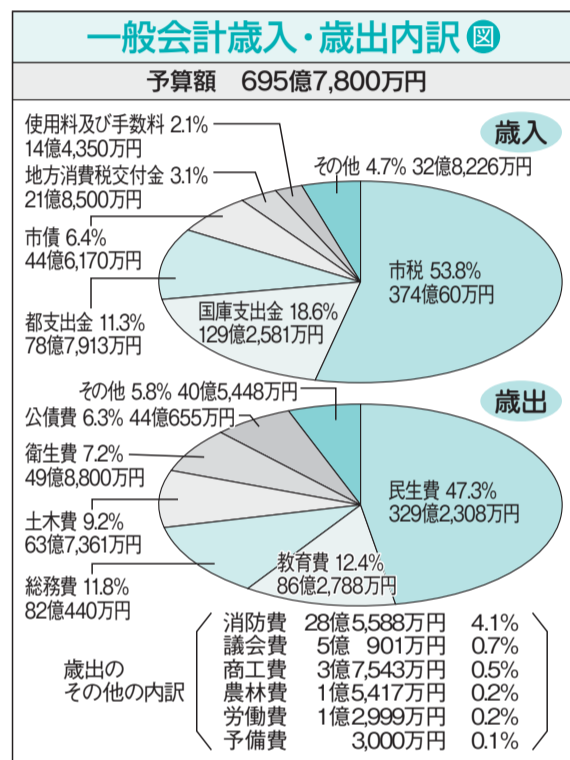
市債は、臨時財政対策債などの減額があるものの、旧庁舎等改修事業や第一小学校建て替え事業などにより、25・8%増の約44億6千万円となっています。

歳出は、総務費が第4次長期総合計画策定や第68回国民体育

性質別	構成	金額	対前年度増減率(△は減)
人件費	費	111億5,801万円	△5.1%
扶助費	費	219億4,983万円	0.4%
公債費	費	44億641万円	△5.5%
物件費	費	101億2,508万円	11.0%
補助費等	費	54億3,310万円	5.2%
積立金	金	2億481万円	0.0%
繰出金	金	74億9,418万円	3.1%
投資的経費	費	80億1,030万円	28.9%
その他	費	7億9,628万円	△7.0%
合計		695億7,800万円	3.7%

会計区分	構成	金額	対前年度増減率
競輪事業		318億5,673万円	11.4%
国民健康保険事業		184億3,036万円	3.2%
下水道事業		55億7,465万円	3.3%
駐車場事業		1億8,314万円	18.0%
介護保険事業		102億7,135万円	2.7%
後期高齢者医療事業		30億6,696万円	4.6%
合計		693億8,319万円	6.9%

会計区分	債務の内容	予定額
一般会計	市債残高	337億7,506万円
	債務負担翌年度以降支出予定額	183億2,429万円
下水道事業	市債残高	197億9,825万円
	債務負担翌年度以降支出予定額	131万円
合計		718億9,891万円



行財政改革 職員給与や事務事業を見直し 約10億6千万円の財源を確保

市は市民サービスの向上を図りつつ、平成25年度に向けた行財政改革の取り組みとして、約10億6千万円の財源を確保しました。

また、看護専門学校閉校、電力供給の見直し、西砂・若葉児童館や西砂・高松・若葉図書館への指定管理者の導入、新学校給食共同調理場のPFI手法(民間事業者)に設計・建設・維持管理・運営を一括して委ねる手法)による開設などで約5億

7千200万円を削減しました。《主な事務事業の見直し》
▼事務事業の廃止・休止・整理統合、事務処理の工夫 約2億1千800万円
▼民間委託等の推進 約1億600万円
▼補助金の見直し 約500万円
▼事務処理経費の削減 約9千600万円
▼繰上償還および借り換えによる利子軽減 約1億4千600万円
▼受益者負担の適正化 約1億3千800万円
▼行政経営課・内線2702

7千200万円を削減しました。《主な事務事業の見直し》
▼事務事業の廃止・休止・整理統合、事務処理の工夫 約2億1千800万円
▼民間委託等の推進 約1億600万円
▼補助金の見直し 約500万円
▼事務処理経費の削減 約9千600万円
▼繰上償還および借り換えによる利子軽減 約1億4千600万円
▼受益者負担の適正化 約1億3千800万円
▼行政経営課・内線2702

大会推進事業などにより14・4%、衛生費が戸別収集・有料化などのごみ減量の取り組みなど

輸送道路沿道建築物耐震化促進事業などで9・5%、それぞれ増となっています。

性別の内訳は上表1の通り。人件費が特別職の報酬等の見直しなどから5・1%の減となっています。物件費が新設の学校給食共同調理場や子ども未来センターの管理運営などで11・0%の増。また、投資的経費は、第一小学校建て替え事業や立川市市民会館改修などによって、28・9%の増となっています。

平成25年度予算の主な施策 (※ここでは立川市第3次基本計画に基づき、整理・分類を行っています)

1 経営戦略プラン(基本計画の推進のために)

- 公共施設のあり方の検討 30万円
- 旧多摩川小学校有効活用事業 6,628万円
- 第4次長期総合計画策定事業 2,107万円
- 行政評価の活用、第三者評価委員会における制度の検証 148万円
- 指定管理者制度の推進、第三者による制度の評価 256万円



旧多摩川小学校全景

2 「福祉・保健の増進」の施策

- 地域福祉コーディネーターの増員、地域のネットワークづくり、地域課題解決の取り組み支援 2,329万円
- ◎潜在看護師再教育・就職支援事業 859万円
- ◎ひとり親家庭等への見守り支援やホームヘルプなどの支援事業 1,072万円
- △子ども未来センターに、子ども家庭支援センターと特別支援教育課の機能を集約し、連携して要支援家庭を支援する子ども家庭総合相談を運営 397万円
- こんにちは赤ちゃん事業 1,525万円
- 子ども未来センターや、市内保育園、幼稚園の巡回相談などの総合発達相談事業 878万円
- 学校の余裕教室や空き店舗等での民間学童保育所新設の検討や、サマー学童保育所の拡大など 9,645万円
- 若葉児童館・西砂児童館への指定管理者制度の新たな導入など 1億7,632万円
- 病児保育室運営 2,932万円



子ども総合相談受付(子ども未来センター)

- 私立保育園建て替え支援 1億5,363万円
- 民間保育所による保育の実施。入所基準の見直しや私立保育園定員拡大などにより受入枠を拡大 32億8,439万円
- 短時間勤務の保護者が利用できる「定期利用保育事業」の実施 1,890万円
- 高齢者世帯等を対象とする、個別見守り再構築、地域ネットワークの強化などの地域支援合いネットワーク事業 3,163万円

3 「生活環境づくり」の施策

- 家庭ごみ収集、収集体制の整備事業 9億5,931万円
- 資源分別収集事業 2億1,646万円
- 不燃物等処理事業 3億3,861万円
- 事業系ごみ減量事業 159万円
- 「資源とごみの分別ハンドブック」作成や、戸別収集・有料化への制度移行の周知・啓発などのごみ減量の推進 2,928万円
- ごみ焼却処理事業 5億3,588万円
- ◎公園施設長寿命化計画策定 1,552万円



ごみ収集作業中

4 「教育・文化の振興」の施策

- 第一小学校建て替え事業 22億6,268万円
- ◎学校給食共同調理場整備運営事業 4億6,272万円
- 第68回国民体育大会を推進し、児童・生徒と保護者等の国民体育大会観戦を奨励 1億5,956万円
- ◎立川公園陸上競技場整備 1,000万円



第一小学校イメージ図

- 地区図書館への指定管理者制度の拡大導入 1億6,681万円
- 子ども未来センター管理運営、まんがぱーく開設、立川市市民会館改修工事など旧庁舎施設等の活用 18億6,110万円

5 「都市づくり」の施策

- 武蔵砂川駅周辺地区整備等事業 5億1,887万円
- 立川駅南口土地区画整理事業 1億495万円
- 多摩モノレール泉体育館駅自転車駐車場整備 1億5,629万円
- 公共案内板の地図更新など交通公共案内施設管理 121万円
- 消防団運営 6,855万円
- 次期、地域防災計画の策定に向けた準備などの防災対策の推進 118万円
- 地域系・固定系防災行政無線の整備など防災情報網整備事業 1億4,547万円
- 避難所機能や防災倉庫の整備 2,150万円
- 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 5億1,598万円



泉体育館駅東側の自転車駐車場予定地(左側)

6 「産業の振興」の施策

- ◎創業支援事業 24万円
- ◎都市軸沿道地域企業誘致奨励金交付事業 3,316万円
- 立川市キャラクター「くるりん」の活用 77万円
- 都市と農業が共生するまちづくり推進事業 2,404万円
- ◎ファーマーズセンターみの一れ立川運営事業 368万円



「ゆりーと」と「くるりん」